

# めぐみイエス・キリスト教会

2020年3月22日(日) 第四主日礼拝  
週報「通算第499号」



## 2020年標題聖句

第 I テサロニケ5章16節~18節

《いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時~11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時~7時
聖書の学びと祈り会	毎週水曜日	午後6時15分~7時15分

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2020年3月22日 第四主日礼拝  
第一礼拝 午前10時 第二礼拝 午後6時

司会 鈴木 竜実牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

- 【前奏祈祷】
- 【賛美Ⅰ】 新聖歌108「丘に立てる荒削りの」 p. 150
- 【交読文】 No.52 ルカの福音書1章 p. 921
- 【賛美Ⅱ】 新聖歌505「主われを愛す」 p. 807
- 【使徒信条】
- 【主の祈り】
- 【先週説教】
- 【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.7 「私の十字架」
- 【聖書朗読】 使徒の働き1章6節～7節(新約p. 232)
- 【祈 禱】
- 【説 教】 《イスラエルの再興》 鈴木 竜実 牧師
- 【聖 餐 式】
- 【賛美Ⅳ】 新聖歌198「God Bless You」 p. 294
- 【平和祈り】
- 【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85
- 【祝祷後奏】

◎本日の聖書箇所【使徒の働き1章6節～7節】(新約p. 232上段)

1:6 そこで使徒たちは、一緒に集まったとき、イエスに尋ねた。「主よ。イスラエルのために国を再興してくださるのは、この時なのか。」

1:7 イエスは彼らに言われた。「いつとか、どんな時とかいうことは、あなたがたの知るところではありません。それは、父がご自分の権威をもって決めておられることです。」

## ●ポイント1.弟子たちが言う「この時」とは？

### ※使徒の働き1章4節～5節「食事を共にしているときに」 (新約p.232)

1:4 使徒たちと一緒にいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れないで、私から聞いた父の約束を待ちなさい。

1:5 ヨハネは水でバプテスマを授けましたが、あなたがたは間もなく、聖霊によるバプテスマを授けられるからです。」

## ●ポイント2. 旧約聖書におけるメシヤ王国の約束の預言とは？

### ※イザヤ書11章1節～10節「エッサイの新芽」 (旧約p.1185)

11:1 エッサイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。

11:2 その上に主の霊がとどまる。それは知恵と悟りの霊、思慮と力の霊、主を恐れる、知識の霊である。

11:3 この方は主を恐れることを喜びとし、その目の見るところによってさばかず、その耳の聞くところによって判決を下さず、

11:4 正義をもって弱い者をさばき、公正をもって地の貧しい者のために判決を下す。口のむちで地を打ち、唇の息で悪しき者を殺す。

11:5 正義がその腰の帯となり、真実がその胸の帯となる。

11:6 狼は子羊とともに宿り、豹は子やぎとともに伏し、子牛、若獅子、肥えた家畜がともにいて、小さな子どもがこれを追って行く。

11:7 雌牛と熊は草をはみ、その子たちはともに伏し、獅子も牛のように藁を食う。

11:8 乳飲み子はコブラの穴の上で戯れ、乳離れした子は、まむしの巣に手を伸ばす。

11:9 私の聖なる山のどこにおいても、これらは害を加えず、滅ぼさない。主を知ることが、海をおおう水のように地に満ちるからである。

11:10 その日になると、エッサイの根はもろもろの民の旗として立ち、国々は彼を求め、彼のとどまる場所は栄光に輝く。

## ●ポイント3. 主による再臨の預言とは？ 私たちのすべきこととは？

### ※マタイの福音書24章3節および27節～36節「人の子」(新約p.50・p.51)

### ※ローマ人への手紙9章33節「使徒パウロの勧めから」(新約p.313下段)

## ◎先週のメッセージの概要【聖霊のバプテスマ】

《マルコの福音書の最後の場面には、オリーブ山に行く直前に、主イエス様が使徒たちと食事をした時に、命じられた事が書き記されています。

「見よ。私は私の父が約束されたものをあなたがたに送ります。あなたがたは、いと高き所から力を着せられるまでは、都にとどまっていなさい。」

主が「父の約束」と言われたことは、十字架の十数時間前に言われた言葉を指しています。「私が父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与え下さり、いつまでも、あなたがたと共にいるようにして下さいます。この方は真理の御霊です。あなたがたは、この方を知っています。」と。

ここで、イエス様は「あなたがたは、この方を知っています」と言われましたが、彼らにはすでに聖霊が与えられています。それは使徒として任命され、二人ずつ、ユダヤの町や村に遣わされた時でもあるのです。

ここから、聖霊が与えられること、すなわち聖霊が内住されることと、「聖霊のバプテスマ」とは、異なる出来事であることが分かって来ます。

主は「聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。」と言われ、パウロは「神の国は言葉にはなく力にあるのです。」と言っています。ここから、「聖霊のバプテスマ」とは、第三位格、聖霊なる神様によって力を受けることを意味しています。それは、聖霊に満たされることです。圧倒的な神様の力に支配されることなのです。「聖霊のバプテスマ」を受けると、人は大胆になります。そして「愛の人」になります。

そして大切なことは、パウロが言うように御霊に満たされ続ける必要があるということです。その為には、私たちの努力が必要とされます。泉から湧き出る水は、絶えず新鮮であり清さを保っています。私たちは常に新しい油注ぎをいただく必要があります。「聖霊のバプテスマ」が与えられる目的は、イエス様の証人になることです。まだ主を知らない人々に対して、救いの道を、救い主が誰であるのか、証しする為のものなのです。》

## ◎お知らせ

※次回礼拝は、3月29日(日)に午前と午後に行ないます。また「聖書学び会と祈り会」は、3月25日(水)は、各家庭にて行ないます。4月1日(水)以降の「聖書学び会と祈り会」は、コロナウィルスの状況次第となります。